

広告



# 武見敬三 対談 渡辺真理 「都民に安心と健康と生きがいを」

## 日本の保健システムに世界が注目

**渡辺** 武見先生は、以前はキャスターとしても活躍されていましたが、大学では国際政治学が専門で、さらに政治家としても長年活躍されています。

**武見** 社会人としていろいろな経験をさせていただき、その恩返しを考えたときに、たまたま「グローバルヘルス」(国際医療保健)という分野に出会いました。そして、その領域こそが国会議員としての経験と自分の元々の得意分野である国際政治学での知識の両方が体となつて活かせる分野だと確信することができました。

例えば現在話題となっている鳥インフルエンザや感染症などの国境を越えた保健医療のテーマに取り組むのもグローバルヘルスの一つです。インフルエンザなどは世界同

渡辺 真理  
長生きの中身が大切なんです。



# 東京から元気を 健康寿命をのばそう！

に届けるという形でしたが、輸送方法や保管温度を考慮した配送システムが提供できず、ワクチンを活用できる状態で現地まで届けられないことが多くありました。

その保健システムの代表的な考え方を「ユニバーサルヘルス・カバレッジ」といい、2008年にWHO(世界保健機関)で提唱されました。この定義は、「誰もが負担可能なコストで適切な医療サービスを受けるこ

時進行で解決していかなければならない課題であり、現在は待ったなしの対応が求められています。

米国ハーバード大学での研究を始めたときは世界的にも保健医療に対するステージが大きく変化していく時期でした。それまでは感染症の撲滅対策としてポリオや結核、マラリア、エイズなど疾患別にワクチンを途上国

とができる」というものですが、驚くべきことに、日本ではすでに1961年にはユニバーサルヘルス・カバレッジの定義にかなった国民皆保険制度が



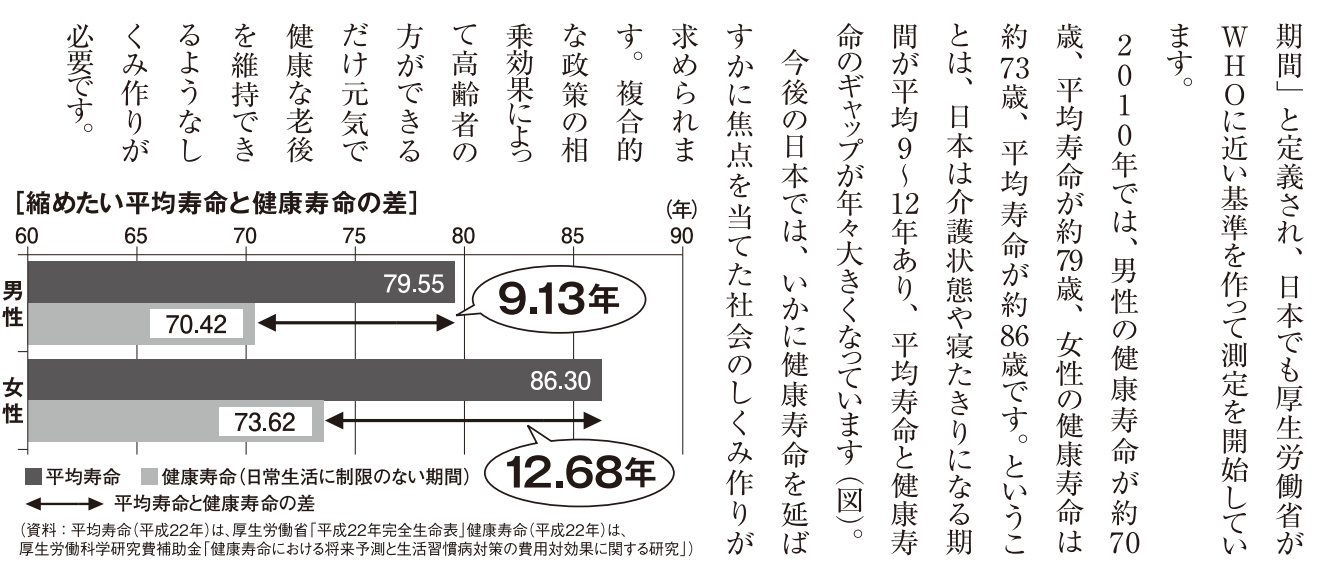
武見 敬三  
東京が元気になると、  
日本が元気になる。

健康寿命をのばすって、どういうこと?

**渡辺** 私たちは今では当たり前のように日本は世界長寿とユースでお伝えしますが、それが過去のどれだけの苦勞や努力のうえに成り立っているかまで、考えが及ばない面があります。

**武見** 実際、1945〜50年頃の平均寿命は、男性50歳、女性54歳でしたからね。日本における過去の経験はこれから社会が発展していく国々にとって大いに参考になります。一方、高齢化を迎えた日本でこの制度を持続させていくには制度の見直しが必要で、

また、WHOは2000年になって、平均寿命に加えて、健康寿命に着目しはじめました。健康寿命とは、「日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる生存



健康寿命をのばすって、どういうこと?

**渡辺** 私たちは今では当たり前のように日本は世界長寿とユースでお伝えしますが、それが過去のどれだけの苦勞や努力のうえに成り立っているかまで、考えが及ばない面があります。

**武見** 実際、1945〜50年頃の平均寿命は、男性50歳、女性54歳でしたからね。日本における過去の経験はこれから社会が発展していく国々にとって大いに参考になります。一方、高齢化を迎えた日本でこの制度を持続させていくには制度の見直しが必要で、

また、WHOは2000年になって、平均寿命に加えて、健康寿命に着目しはじめました。健康寿命とは、「日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる生存

**武見** 高齢者の方が意気に感じて仕事をし、社会や家族との絆を深めて日々の暮らしを大切に。そして高齢者の方が健康で経済的にも自立することは、それを支える若い世代の負担を軽減させることにつながります。このことは社会全体の活力を維持していくうえで必須の課題といえます。

## 東京オリンピックが健康増進の起爆剤に

**渡辺** ところで、2020年開催のオリンピックの招致には、ベースとして健康意識との関わりを考慮する必要があります。

**武見** 私もラグビーを少年時代からずっとやってきましたので、実感として言えるのですが、1964年の東京オリンピックがスポーツに対する国民みんなの関心を広げました。それを日常生活に取り入れて健康増進に役立てたのです。オリンピックには国威発揚というだけではない、そういう実質的な効果もあります。だから、2020年のオリンピックが東京で開催されるとなれば健康への意識も高まり、年齢やライフスタイルに応じたスポーツ振興をもう一度、国民みんなの中に浸透させていく大きなきっかけになりますから、ぜひ東京で開催し、東京から元気を世界に発信できればと思います。

**渡辺** 今後とも都民のために、国民の皆様のために活躍されますことを心からお祈りします。



武見 敬三(たけみけいぞう)  
慶應義塾大学法学部卒。テレビキャスター、東海大学教授を経て参議院議員に。厚生労働副大臣、ハーバード大学公衆衛生大学院研究員、日本国際交流センターニアフェロなどを務める。2011年に「ラセット」日本特集に尽力。2012年より参議院議員。

渡辺 真理(わたなべまり)  
国際基督教大学教養学部卒。1990年TBS入社後、1998年フリーに。テレビ朝日「ニュースステーション」に番組終了まで出演し、現在はNHK BSプレミアム「BS歴史館」BS朝日「恋するドライブ」をはじめTV、ラジオ、雑誌等幅広く出演中。